

荒尾市制施行 70 周年

～夢をつないだ 70 年 さらに未来へ はばたけ荒尾～



政策企画課企画統計係

☎ 63-1274

FAX 64-0940

arao-70th@city.arao.lg.jp

戦後の石炭政策の変遷(2)

荒尾史を振り返る④

“石炭のまち”荒尾市はエネルギー革命という嵐に直面し、また三池争議、三川鉱炭塵爆発災害など厳しい試練にさらされてきました。数少ない国産エネルギー資源である石炭の展望も決して明るいものではなく、国内炭のエネルギー政策上の位置付けは、海外の石炭や天然ガスなどのエネルギー資源の安定的な供給が進んでいること、国内の石炭需要に占める国内炭の供給割合は低下し続けていることなど、石炭産業の存続をめぐる情勢はきわめて厳しいものでした。一方、日本での石炭の需要は拡大を続けていました。安定的な供給確保に取り組む必要性も生まれ、エネルギー資源としての石炭の重要性は変わりませんでした。炭鉱の維持・存続への取り組みを進める中、エネルギー政策の転換と安い海外炭の流入で国内の炭鉱が次々と閉山し、ついに昭和26年には採炭が終了しました。そして三井三池炭鉱は平成9年3月に閉山を迎え、三井経営として108年、官営時からは124年という長い歴史に幕を下ろしました。

閉山後、万田坑は、わが国の近代化に大きな役割を果たした最大級の施設であり、当時の優れた炭鉱の技術を伝えているため、平成10年に国の重要文化財に指定されました。また、平成12年には、炭鉱施設としてはわが国で唯一の国史跡に指定されました。

巨大モザイクアートができるまで①



あらおシティモール出合いの広場に展示している巨大モザイクアートの制作には、たくさんの市民の皆さんに協力していただきました。その制作風景の一部をご紹介します。

1. 班を作り、みんなで集中して作業しました。(荒尾海陽中学校)
2. 作品をつなぐと、絵柄が浮かんできました。(桜山小学校)
3. 協力しながら1枚ずつ楽しく貼りました。(荒尾支援学校)



70周年記念冠事業 ～申請受付中～

荒尾市体育協会加盟団体 スポーツ競技大会

荒尾市体育協会に加盟している団体のスポーツ大会です。平成24年度1年間を通じて、15種類のスポーツ大会が行われます。1月は最後の1つが行われます。

第50回記念荒尾市新春バドミントン大会
オープンのバドミントン大会です。種目は男女ダブルス(上級・中級・初級)と男女シングルス(上級・初中級)の2種目です。

●期日 1月27日(日)

●場所 市民体育館

☎荒尾市バドミントン協会 ☎64-2657



24ページもご覧ください。

Town Topics

ま ち の 話 題

ARAO CITY

11/25

色鮮やかな小岱山の秋を楽しむ

～第8回紅葉狩りウォーク～

▶観音寺ではぜんざいの振る舞いが、おいしさに笑みがこぼれます。



府本地区協議会の主催で紅葉狩りウォークが開催され、地域の人などおよそ100人が参加しました。小岱山の林道沿いには、地域の人たちによって植えられた多数の紅葉が、ちょうど見頃を迎えていました。赤や黄に染まった木々を眺めながら、およそ5kmを歩きました。

ゴールとなった小岱山駐車場には、地域の人たちによっておにぎりや豚汁、ふかしたカライモが用意されていました。参加者は心尽くしの食事で、心地よい疲れを癒していました。

11/25

荒尾の宝を思い思いにスケッチ

～万田坑スケッチ大会～

▶思い思いの角度から万田坑を見つめ、家族で楽しく描いていました。



万田坑スケッチ大会は、荒尾青年会議所の主催で開催されました。およそ200人の小学生とその保護者などが参加し、万田坑を題材にスケッチをしました。子どもたちは「やぐらが難しい」「パイプの部分とレンガが難しい」と話しながらも、目の前の万田坑を画用紙いっぱいのにのびと描いていました。正午頃からは青年会議所会員が手作りした豚汁も配布されました。

晴天の日是一般見学者も多く訪れ、万田坑は一日中にぎわっていました。

12/1

互いを尊重し合うまちを目指して

～2012 荒尾市人権フェスティバル～

▶中央小学校の2年生が、スイミーを披露してくれました。



文化センターで荒尾市人権フェスティバルを開催しました。

展示部門では市内の学校からたくさんのポスターや作文などが寄せられました。ステージ部門では今年から就学前児童も参加し、幼稚園児や保育園児がかわいい歌や踊りを披露しました。

人権講演会では福永宅司さんが一人芝居の「君をいじめから守る」を熱演。観客は福永さんの芝居に引き込まれ、講演が終わると会場は大きな拍手に包まれました。

荒尾市制施行 70 周年記念事業

70文字の愛ことば

ふたりの永遠の誓いが刻まれるとき
人生の新しい希望が灯ります
最愛の人に
真実の輝きを。

母・佐世子へ

石塚燈さん(岱洋西区)

●70文字で、あなたの「愛ことば」を大切な人に伝えませんか。(ペ)ネームでもかまいません。(応募する場合は、作品と一緒に本名・住所・年齢・電話番号を書いてください。掲載時にご連絡します)「応募先」〒864-8686 (住所不詳)

荒尾市役所秘書広報課広報広聴係 (FAX・メールでも可)
☎63-1157 FAX63-1145
Eメール koch@city.arao.lg.jp